

9月号

2学期が始まりました

校長 桐ヶ谷 淳子

学校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

2学期がスタートしました。思い起こせば、一昨年は一斉臨時休業の影響で8月19日から、昨年は夏休みが延長され9月1日から2学期が始まりました。今年は3年ぶりに予定通りに始業式を行うことができました。

始業式では、あらためて令和4年度の草柳小学校の重点目標

聞き合い 伝え合い 考えて行動する子

を子どもたちと確認しました。その中で「聞」と「聴」の漢字の違いについて話しました。「聞」はもんがまえに耳で「自然に耳に入る」の意味です。こちらの漢字は広く一般的に用いられます。それに対して「聴」の字は、つくり(漢字の右側)が「まっすぐな心」を表し、「まっすぐな心でよくきく」の意味です。子どもたちには、話の内容を正確にとらえたり、話している人の気持ちを想像したりするために、「きく」時には「聴」の姿勢を意識してほしいと伝えました。

ここ最近、自分本位の身勝手な考えで、人の命があまりにも軽んぜられる事件が多い気がします。また、繰り返し流れる戦禍のなまなましい映像が、子どもたちの心に悪い影響を与えるのではないかと心配になります。世界的にも、排他的で自分とは異なる考えを受け入れない風潮が蔓延しています。

そんな今だからこそ、話を「聴く・傾聴する」ことが求められているのだと思います。「聴」には「聞き入れる・ゆるす」の意味もあります。問題が生じた時には、他の人の話を聴いて、互いに二項対立ではない解決方法を探っていく。その姿勢が大切であることをあらためて感じています。

9月1日は防災の日です。1923年(大正12年)のこの日、関東大震災が起きたことから制定されました。死者、行方不明者は10万人を超え、日本の地震被害としては最大規模、史上最悪の自然災害とも言われます。

夏休みに東日本大震災の話をつかぐ機会がありました。実際に避難所に救援物資を届けた経験をされた方から、当時の状況をお聞きしました。ご実家が津波に流された写真も見せていただき、絶対的な自然の力への脅威とともに、災害を決して風化させてはいけなさと強く思いました。

学校ではシェイクアウト訓練を行いました。子どもたちには、「自分の身は自分で守る」ことを意識して、発災時の正しい行動を確実に身に付けてほしいと考えています。



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

この夏も各地で大雨による被害が起きました。これから本格的な台風シーズンを迎えます。警報が発令された時の登校について等、ぜひご家族で確認していただければと思います。

新型コロナウイルスの感染はいまだ収束の目途が立ちませんが、学校としては感染の拡大防止と教育活動の両立に努めてまいります。引き続き健康観察等にご理解ご協力ください。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。